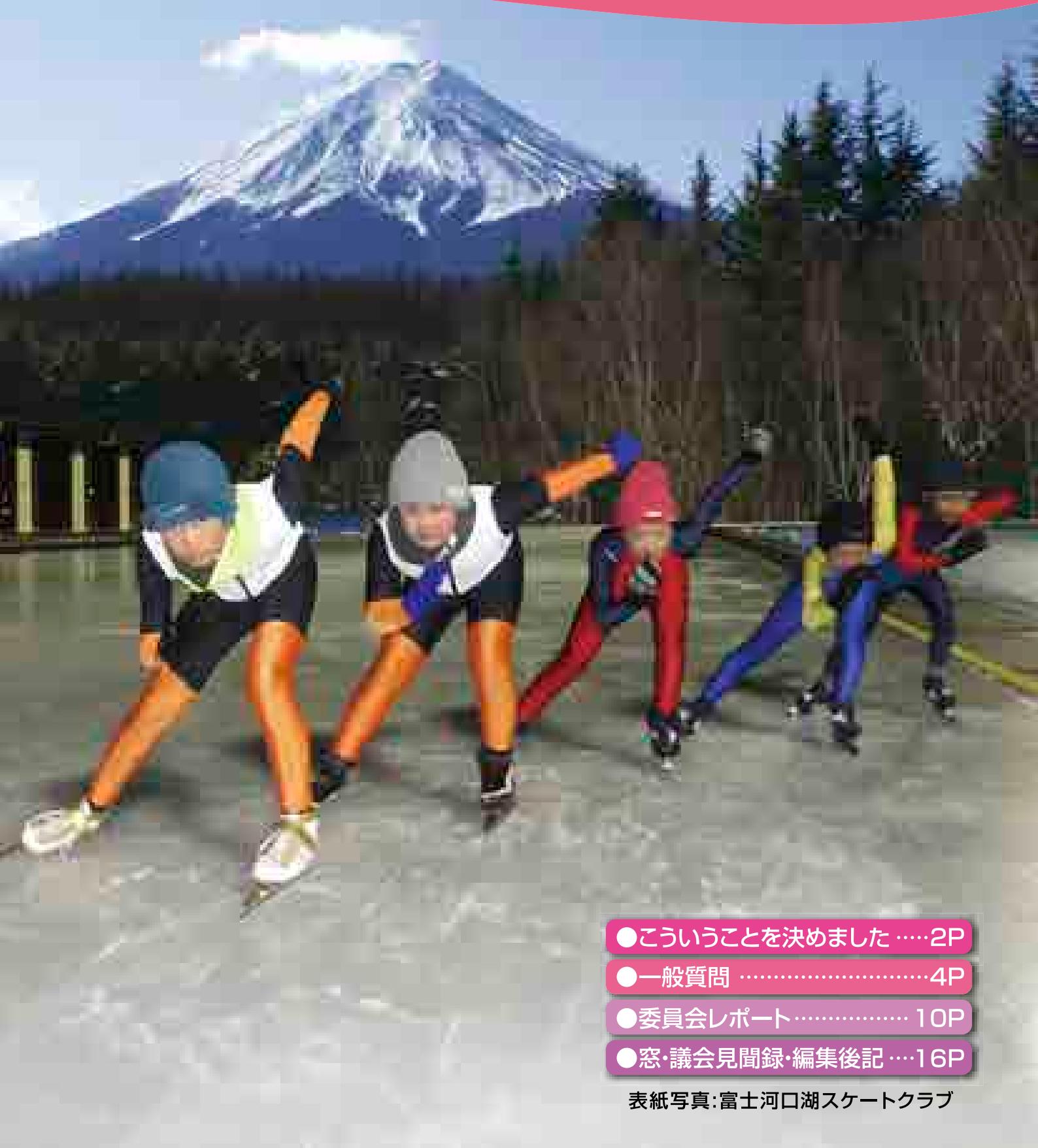




議会だより

2019.2 Vol. 61

ふじかわぐちこ



- こういうことを決めました 2P
- 一般質問 4P
- 委員会レポート 10P
- 窓・議会見聞録・編集後記 16P

表紙写真:富士河口湖スケートクラブ

平成30年 第4回定例会

平成30年第4回富士河口湖町議会定例会は12月5日に開会し会期を9日間と決めて12月13日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案及び審議結果は、次のとおりです。

条例の一部改正4件、補正予算12件、町道道路認定1件、請負契約締結3件、同意案件2件、指定管理1件を審議し、すべて原案のとおり可決、承認されました。

なお、補正予算案の一部は総務常任委員会、文教社会常任委員会、産経土木常任委員会において各委員会が所管する部分ごとに審議され本会議に報告されたほか、各常任委員会が所管する事務について質疑が行われました。

また、6人の議員から一般質問がありました。詳細は、4～9ページをご覧ください。

条例の一部改正……(4件)

- 1 富士河口湖町給水条例の一部を改正する条例の制定について
(船津・小立・勝山地区水道料金の改定に伴う条例の改正)
- 2 富士河口湖町簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について
(足和田簡易水道事業の水道料金の改定に伴う条例の改正)
- 3 富士河口湖町温泉使用条例の一部を改正する条例の制定について
(宅配給湯に関する料金における消費税等相当額の加算を明確に表記するための条例改正)
- 4 富士河口湖町職員給与条例の一部を改正する条例の制定
(国及び県の給与に関する勧告等に伴う関係条例の改正)

補正予算……(12件)

◆平成30年度富士河口湖町一般会計補正予算(第5号)及び(第6号)

歳入歳出予算の総額に、補正予算第5号及び第6号併せて2億6,607万円をそれぞれに追加し、歳入歳出それぞれ124億4,933万円とする。

〈歳入の主なもの〉

- 廃棄物処理手数料 1,410万円
- 国庫・県支出金 3,685万円
- ふるさと応援寄附金 5,000万円
- 繰越金 1億2,589万円
- 小中学校空調設備整備事業債 2,600万円

〈歳出の主なもの〉

- ふるさと応援寄附基金積立金 2,475万円
- ふるさと応援寄附金謝礼 2,500万円
- 介護給付、訓練等給付費 3,700万円
- 保育所空調設備設置工事設計委託料 959万円
- 子ども医療費助成金 3,080万円
- 除雪作業委託料 2,400万円
- 小中学校冷房設備設置工事実施設計委託料 2,608万円

◆その他、特別会計補正予算(10件)

こういうことを決めました!

町道の路線認定……(1件)

1 町道3276号線(船津)の路線認定

請負契約締結……(3件)

1 船津小学校既設校舎第一期解体工事請負変更契約

契 約 金 額: 変更前 8,424万円

変更後 9,231万円

契約の相手: フジコンストラクト株式会社



船津小学校起工式

2 富士河口湖町立船津小学校増改築工事請負契約

契 約 金 額: 18億9,000万円

契約の相手: 芙蓉建設・フジコンストラクト・山七

富士河口湖町立船津小学校増改築工事共同企業体

3 富士河口湖町役場庁舎空調設備整備工事請負契約

契 約 金 額: 1億1,880万円

契約の相手: 株式会社コバヤシ工業

同意案件……(2件)

任期満了に伴い2件の同意案件が提出され、審議した結果全て同意されました。

1 富士河口湖町教育委員会教育長

わたなべ まさか

渡邊 政孝

2 富士河口湖町教育委員会委員

くら さわ しゅう

倉澤 秀

町有施設の指定管理者の指定……(1件)

管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者として指定する団体 名 称・所在地	指定の期間
西湖いやしの里根場	一般社団法人 西湖観光協会 富士河口湖町西湖根場2710番地	平成31年4月 1日から 平成36年3月31日まで



西湖いやしの里根場

一般質問

知りたい!
聞きたい!



一般質問者
古屋 幹吉

一般質問

業振興、少子化対策、まちづくり、福祉、教育の充実、環境対策、災害への備えや安全で安心なまちづくりの事業、さらには社会基盤整備事業など多岐再々にわたつておるところである。

今後の国・県の施策の動向に最新の注意を払い、それを判断材料として見きわめながら予算編成を行つてまいりたい。

民宿等宿泊業者の活性化について

平成31年度の予算編成の方針と気構え

Q 町として予算編成の方針と気構えは、その予算の中身としての平成31年度の主要施策、主要事業を伺う。

A 町長 町税等に多大な影響のある制度改正が予定をされている。創意工夫の意識を持つて対応することや、施策ごとの重点化、効率化を重視することはもちろんあるが、徹底した歳出削減の見直しと一層の歳入確保への取り組みを強く進めています。

Q 小立のくぬぎ平グラウンドは、主なる目的は小立地区の観光振興のために活用すること。利用状況によると近年は厳しい状況だと理解しているが、住民や利用者からどのような声が上がっているか。

A 生涯学習課長 小立の観光協会からは、芝生化を実現してほしいという内容のもの。スポーツクラブからは、くぬぎ平グラウンドの人口芝化、グラウンド周辺の環境整備、河口湖サブサッカー場の人工芝化を進めてもらいたいという内容のもの。これらの切実な声に対し、土のグラウンドの人工芝化などを実現していきたい。

健康科学大学がもたらす影響について

Q 健康科学大学の存在は、我が町にとつて教育や福祉の向上及び経済効

果に貢献してきたと思うが、当町としても何らかの応援をしていかなければならないと考えるが。

A 町長 未永い存続として、またこれから輩出される学生が地域で活躍ができるように、そういう思いを持った中の支援策を講じてまいる。そういうことはいつも念頭に置いている。

都市計画道路船津小海線の富士吉田までの展望

Q 河口湖南岸地域の住環境の発展と観光アクセスの整理に対して、重要度を増す船津小海線の特に河口湖変電所から富士吉田までの展望を伺う。

A 町長 県とのかけ合いの中、変電所からスバルラインまでの185メートルの開設を要望している。赤坂地区までということだが、その先は、道路構造的見地から現在のところ困難でないかと考えている。富士吉田市と富士河口湖町で協力をしながら、富士河口湖高校の北側の道路の拡幅へ移っていくことが今後は考えられる。

また、船津・小立・勝山地区は、幹線道路に接続する生活道路としての南北道路は少ないかなというように思っている。



一般質問者
半田 幸久

ればならない。場所の選定を地元で協議して頂きたい。

河口湖畔の交通対策について

A 河口湖畔の道路整備の現状について
伺いたい。

一般質問

知
りたい!

聞
きたい!



一般質問者
三浦 康夫

子供食堂の取り組み

子育て支援の一環として民間で行つて
いる子供食堂に対する町のとらえ方は。

A

Q 子育て支援課長 町内にある子供食
堂は、民間のNPOで行つてること
もあり、この取り組みに限つた支援は
行つていない。現行の林作基金などを活用
し、年間25万円を3年間支援している。

A

Q 観光地である当町では、土日に勤務
されている方も多く、休日の子育て
支援が求められているが、町の取り組みは。

A

Q 子育て支援課長 ホリデー保育事業
とファミリーサポート事業により休
日の子育て対応をしている。ホリデー保育
事業は、勝山保育所で実施している事業で、
4時間以内2000円、以降1時間につき
500円で保育が受けられる。ファミリー

サポート事業は、地域の子育てを支えあう
会員により子供を預かって頂く事業で、1
時間700円（土日祝祭日800円）の利
用料がかかる。

Q 民間で行つてい
る取り組みに対

しても資金面の支援も
必要ではないか。

Q 民間で行つてい
る取り組みに対

しても資金面の支援も
必要ではないか。

A 町長 現状として
は、林作基金を
活用していただき、状
況を見計らつた中で町と
しても検討してみたい。



ニコニコかかし食堂

西湖・根場の民有地の課題

Q 西湖・根場は昭和41年の災害を受け
て、樹海を切り開いて民宿村を作つ
た。50年以上を経過し、空き家も増加して
いる。払い下げを行い有効活用すべきでは
ないか。

A 総務課長 払い下げを進めるか否か
については、地元住民の意見集約が
前提となる。

Q 住民の意見がまとまらないことの一
つに山梨県の条件が厳しいといふこと
もある。町と住民が意見交換をし、再度
県と交渉すべきではないか。

A 総務課長 住民が払い下げに向かう
ということであれば県と交渉もでき
る。理由は問わず、最終的には個人の資産
形成になるので、個人負担が前提となる。
西湖南岸の官民境界についても大き
な課題があるが現状は。

障害者雇用について

Q 障害者の雇用については、国や県で
水増ししていたといった報道もあつ
たが、町の状況は。

A 総務課長 障害者雇用率は、6月1
日現在で2・6%であり法定雇用率
は達成していたが、7月末に1名が退職した
ため、来年度1名採用する予定となつていて
いる。

Q 役場という組織だけでなく、町全体
に障害者雇用を広げていく必要があ
る。町全体の障害者雇用の状況は。

A 総務課長 町では把握できていない。
Q パラリンピックでも障害者が活躍し
ている。共生社会の実現に向けて町
の意気込みは。

A 町長 障害者と健常者が一緒に社会
づくりをすることが求められる。町
としても障害者の採用については前向きな
姿勢を取つていただきたい。

る。理由は問わず、最終的には個人の資産
形成になるので、個人負担が前提となる。
西湖南岸の官民境界についても大き
な課題があるが現状は。



一般質問者
佐藤 安子

把握に努め、有事の際の対応に結びつけることも重要と認識している。

バリアフリー マスターープラン策定は

Q 12年ぶりとなる改正バリアフリー法が成立した。努力義務だが市町村に対してバリアフリー化に向けた「マスターープラン」の策定を求めている。当町としては、プラン策定をどのように考えているのか。また、町

観光連盟が、高齢者と障害者に優しい観光まちづくり推進事業に着手し、バリアフリーモニターツアーを実施した。同行した課長の感想と、これから報告される内容について、どう対応していくのか伺う。

A 都市整備課長 当町においては、市町村の裁量と国の支援内容、県の立場、役割分担がさらに明確になるまでは時期尚早だと判断している。今後、制度の知識を深める中で、国や県など自治体の動向をみながら検討したい。モニターツアーは障害者の視点に立つというバリアフリー法の基本と目指すところを教えられた。今後、指摘された箇所においては、予算と相談しながら適宜修繕を施し、大がかりな修繕においては、財政当局と相談しながら検討していきたい。

A 地域防災課長 地域防災計画には要配慮者対策の推進として、外国人及び観光客対策が明記されている。また、平成28年度には「富士河口湖町観光防災の手引き」を、観光課で整備している。災害時に外国語が話せる人材のリストは整備していない。町国際交流協会や通訳ボランティア団体などの情報

ご遺族支援の取組みを

Q ご家族がお亡くなりになり葬儀を済ませ、ほっとする間もなく、ご遺族が役所の手続きに苦慮される話はよく聞く。こうした手続を一括して手助けするご遺族に寄り添った支援として窓口の開設が広まり始めている。当町は、死亡届などが提出されたときはじめのような住民サービスを行っているのか。

A 住民課長 ご遺族が来庁された際は、関係する課と情報を共有して、他の課へのご案内や担当者に出向いてもらっている。お電話で問い合わせの際は、必要書類や持ち物など関係部署の手続もご案内している。今すぐできることとして、来庁時の不安や不明な点を少しでも軽減できるよう、役場での手続の種類、内容、必要な持ち物、対応窓口などの一覧を作成し、死亡届提出時にお渡しできるよう、関係部署への調査、準備を進めている。



一般質問

知りたい!
聞きたい!



A

学校教育課長 給食費の無償化は、継続的な財源の確保などの課題があ

べき。
小中学校の給食費の無償化を
公立小学校で約10万円、公立中学校で約18万円。保護者の負担軽減が必要。②「やまなし子どもの生活アンケート」によれば、山梨県の子どもの相対的貧困率が10・6%で、その世帯のうち、就学援助制度を知らない世帯が約15%もあり、貧困対策として必要。③子どもたちの健康のための食育は、義務教育の一環。費用は社会全体で負担すべき。

成30年度（10月まで）の平均落札率は約96%、平成29年度は約95%である。全国市民オンブズマン連絡会議の見解では、落札率が95%を超えると談合の疑いが極めて強い、とされている。町では、1,000万円未満の工事の契約の多くに、指名競争入札を採用しているが、落札率を下げるため、少額の入札を除き、一般競争入札を原則とすべきだ。

小中学校の給食費の無償化を

Q

小中学校の給食費の無償化の検討を提案する。理由は次の3つ。①文科省の調査（平成28年度）では、年間1人あたりの学校教育費と学校給食費の合計が、

一般質問者
山下 利夫



競争入札は原則として一般競争入札に

Q

当町の工事の入札結果を見ると、平成30年度（10月まで）の平均落札率は約96%、平成29年度は約95%である。全国市民オンブズマン連絡会議の見解では、

A 健康増進課長 ユニット型個室を基本とするのは、県の補助金要綱に準じたもの。低所得者対策としては、社会福祉法人などによる軽減制度もある。安価な多床室型の建設を。

Q

特別養護老人ホームを当町に建設するための事業者募集が行われた（すでに締め切り）が、その募集要項には「エ

安価な特別養護老人ホームの建設を

A

総務課長 一般競争入札は、経営事項審査における総合評定の証明や完成工事の証明などの各種申請書を提出する必要がある。その必要のない指名競争入札も、小規模事業者には必要。

A

福祉推進課長 山梨県全体では、平成20年4月の窓口無料化により、平

度心身障害者医療窓口無料の復活を

Q 平成26年11月、重度心身障害者医療費の窓口無料方式が廃止され、一旦窓口で納めて3か月後に自動還付される方式に変わった。重度障害者の多くは収入がない。窓口無料に戻すよう県に要望すべきだ。

A 健康増進課長 ユニット型個室を基本とするのは、県の補助金要綱に準じたもの。低所得者対策としては、社会福祉法人などによる軽減制度もある。安価な多床室型の建設を。

ニット型個室を基本とする」とある。ユニット型個室は居住費などが高く、軽減制度を適用しても入居が困難な場合がある。安価な多床室型の建設を。

山梨県では、無利子で医療費を貸与する制度を設けている。この制度のさらなる充実のために自動還付方式に移行している。

り、慎重に対応すべき。しかし、いま実施している学校給食費への補助金の増額は、今後の重要課題と認識している。



一般質問者
渡辺 武則

人口減少対策の一環である婚活事業の現状について伺う。

A 福祉推進課長 結婚相談員、結婚相談所、婚活イベントの3つを、町公社協議会に委託、実施。地道な活動により、少しずつ成果は上がっている。

富士河口湖町の特産品開発に向けて

Q 当町の特産品開発に向けての事業及び、今後の取り組みについて伺う。

A 農林課長 農林課の所管事業として富士桃、ジビエ肉、チーズの3品目を主要な農産物特産品として、積極的に事業展開している。

Q 今後、課題となる後継者、生産者の育成と確保、そして、安定した供給と販売についての考えは。

A 農林課長 農協や大学等の専門家とも連携しながら、諸施策も研究した中で新たな担い手の確保と生産量の増大に努めていきたい。

Q ブランド化推進には、ネーミングやパッケージも重要な要素になると思うが、農林課長 親しみやすく、多くの農産物を包括的に町の特産品として認定できるよう、今後研究していきたい。

国際交流事業の今後について

Q 友好都市協定の締結を結んだスイスのツェルマット村と、中学生の相互交流が始まった。今後の国際交流事業の基本方針を伺う。

A 政策企画課長 中学生の相互派遣は重要な学習活動と考える。隔年ごとの訪問、訪問の時期、参加できる年齢や学年を高校生も含め検討をしていく。

Q 国際交流に対し町民の共鳴を得るには、町と議会が共有の思いを持たなければならぬ。今後の交流について、町長の所見をお聞かせ願う。

A 町長 議員各位の総意を持って訪問団を結成し訪問できるなら、予算計上も諮っていく。

若者のUターン支援について

Q 定住促進や企業立地も重要な施策だが、若者のUターン支援に対する考え方。

A 観光課長 現在、富士北麓地域合同企業就職セミナーなどの、各種就業支援活動を行っている。今後は、町に就職する魅力をPRすることや、起業支援など政策企画課を始めとして関係各課と連携する中で、学生のUターン・Iターンについて検討していきたい。

- A 住民課長** 0歳から14歳は年々減少し、476人の減。65歳以上は年々増加し、1,442人の増となる。
- Q 少子高齢化による人口減少が始まつたと推測する。この10年の、0歳から14歳までの年少人口、65歳以上の老人人口の推移は。**

- A 住民課長** 平成30年4月1日現在の人口は2万6,327人で、10年前から584人増加。直近の1年間の比較では、前年より179人減少している。
- Q 直近の1年間の人口移動の状況について伺う。**

当町の少子高齢化の現状について

Q 当町において、この10年間及び、直近の1年間の人口移動の状況について伺う。

A 住民課長 平成30年4月1日現在の

人口は2万6,327人で、10年前から584人増加。直近の1年間の比較では、前年より179人減少している。

Q 少子高齢化による人口減少が始まつたと推測する。この10年の、0歳から14歳までの年少人口、65歳以上の老人人口の推移は。

A 住民課長 0歳から14歳は年々減少し、476人の減。65歳以上は年々増加し、1,442人の増となる。

A 地域防災課長 避難確保計画を念頭に、観光部局・関係団体と連携した中で進めていきたい。



観光地としての防災

Q

防災ハンドブックの概要は。

A

地域防災課長 山梨大学の教授の監修により作成したものを広報誌に差し込み、各戸に配布した。

Q

このハンドブックを多言語化していく、外国の方にも活用できるように検討してほしい。

A

地域防災課長 当町は国際的な観光地でもあり、なるべく早い対応を検討したい。

Q

観光客の安全を確保するための防災訓練について、町の考えは。

バリアフリーのマスター プラン策定

Q

このマスター プランの策定には県の補助金制度が活用出来るのか。

A

政策企画課長 補助金制度については県に確認をとる。バリアフリーに対する考え方を総合計画にうたつている。今回のプランづくりについてはその必要性も合わせて検討する。

Q ジャパンタイムズ(英字新聞)に富士河口湖町を賛辞する、ラグビーワールドカップやオリパラ誘致活動が掲載された。これらに関連する今後のイベント予定はあるか。

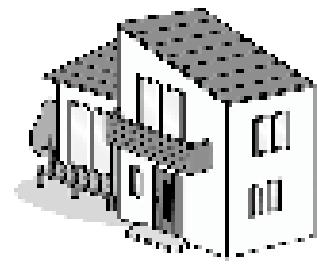
A 政策企画課長 公認キヤンプ前にラグビーワールドカップに出場する関係各国の国会議員、約400名がくぬぎ平スポーツ公園で試合をする予定。



くぬぎ平サッカーフィールド

総務 常任委員会

補正予算の主な内容



新築住宅建築奨励金

政策課 移住定住を促進するための新築住宅建築等奨励金は、当初の見込みより更に10軒ほどの申請が見込まれるため、400万円増額する。

空き家バンク

政策課 空き家バンク物件に対するリフォーム補助として、当初5件を見込んだが、さらに4件の申請が見込まれるため、移住促進住宅リフォーム補助金として80万円を増額する。また、空き家提供促進事業補助金40万円も増額したい。これは、空き家バンクに登録し、町外からの移住者との賃貸借が成約に至った場合に10万円を限度とし補助するもので、当初10件を見込んだが、さらに4件の申請が見込まれるため増額するもの。

ふるさと納税

企画課 ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）は、昨年度同期と比較して5,000万円の寄附金増額が見込まれるため、謝礼金についても増加額の5割に当たる2,500万円を補正したい。

A 企画課長 その5割の内訳を教えてほしい。また、どういう品物を送っているか。

Q 政策企画課長 商品代が3割、それから手数料が2割となつていて、200項目を超える商品があるが、地場産品を中心とした品物を提供している。

A 町長 何とか地場産品をもっと開発してほしいが、町長の考えは。

町長 総務省から、返礼は厳格に3割までに抑えるようという通達がある。また、その品物はあくまでも地場産品を中心にしてのこと。この点を締めつけられると、海産物が年間を通して水揚げできる海沿いの市町村が有利となり、海なし県は不利になってしまう。純粹な特産品というものはなかなか見つからないという状況が現在ある。そんな中で担当は大変努力をし、ここで5,000万円のふるさと納税の増額が見込めるという状況になつた。今後とも、鋭意努力をしてこの町を売り出すという方向に向かっていきたい。

現地視察

平成30年11月5日（月）総務常任委員会では、次の現地視察を実施しました。

■ふふ河口湖（河口）

■東横イン富士山河口湖（船津）

■太陽光発電施設設計画予定地（富士ヶ嶺）



東横イン工事現場

いこと、またそれを設置する職人がいない
というこの2つの問題がある。鋭意早めで
進めていきたい。

解が難しいとも聞いていたが、直接環境課
まで来て苦情ということは無く、今までト
ラブルなく執行している。指定ごみ袋に関
しては強くお願いしている。



学校でのいじめの現状

A 所管の小・中学校における最近のいじめ、校内暴力等の現状は。

A 現在、1校で、いじめに関して対応している。学校教育課、スクールソーシャルワーカー、教育センター、学校と綿密な連携を図り、様々な関係機関と協議している。

Q 調査はどのように行われているのか。子供たちに直接聞いているのか。

A 教育長 業者が行う「Q.Uアンケート」を用い、子供たちに記入させ、業者がそれを全部チェックする。人間関係や友だち関係等が調べられ、かなりの確率でいじめなどの状況が把握できる。その他に、教員の作成した生活アンケートを、少なくとも年3回各校で実施している。

A 新制度は問題なく進められたか。指定ごみ袋をきちんと使用しているか。

Q 7月ごろまでの設置が求められているが、進める上での課題はあるか。

A 町長 何とか6月末を目安にと考えているが、製品の製造が間に合わない。収集運搬許可業者からは、事業者の理

事業者向けごみ新制度

A 環境課長 執行前には、事業者からの電話相談や窓口での照会が多くついての障害者は無料にならないのか。

A 高年が多く、収入面への影響が大きい。障害者については、現在身体障害者4級以下の半額となっているが、精神、知

レジオネラ菌の対応は

A 11月に健康プラザで発生したレジオネラ菌の対応はどう行われたのか。

A 健康増進課長 11月8日に発覚し、保健所の指導のもと、即、全館入浴禁止とし、塩素消毒を開始。その後、配管工程を打ち合わせ、11月15、16に配管洗浄と滅菌洗浄、11月20日に再度水質検査を行い、11月30日にレジオネラ菌陰性の結果が出た。準備等を含め12月4日から再開した。

尚、緊急に対応する必要があつたため、本来なら補正予算を組み議会での承認後に実施すべきだが、予備費より167万4,000円を充当させていただき対応した。

河口湖美術館

A 県立美術館と同様に65歳以上とすべての障害者は無料にならないのか。

A 美術館の観覧者は中高年が多く、収入面への影響が大きい。障害者については、現在身体障害者4

文教社会 常任委員会

的、全等級に関して、今後ふるさと振興財団と前向きに協議をしていきたい。

Q 財団への委託料が年々減額される。3,800万円を維持すべきでは。

A 町長 今後も財団の鋭意な努力と営業展開により一般会計からの負担が少なくなることを期待しているが、状況を見ながら判断していきたい。

としてきた。来年度も増額をしていきたい。私立幼稚園も私学就園援助金を増額してきたが、今後も増やしていく。また、ロタウイルス、おたふく風邪等の全額保護者負担の任意接種を補助していきたい。

高齢者へは、外出の機会を増やす援助制度を考えている。タクシー券の発行、バスの定期券への補助等を考えている。

建設に入る船津小学校

間もなく船津小学校の建設が始まるが、町の意気込みは。

A 町長 ここで、2年間の継続事業として建設に入る。町にとっては何十年に一番の大事業だという思いを常々持っている。全力投球をしていきたい。

新年度予算の福祉と教育は

新年度予算に向けて、福祉と教育への考えは。



町内視察

平成30年11月8日（木）文教社会常任委員会は、次の現地視察を実施しました。

■勝山小学校

今夏の酷暑の状況を先生より説明を聞く。

A 町長 お年寄りに対しては、国等が、手厚い福祉を行っている。福祉は、国の施策を維持していくという面から言うなら、「守り」であり、教育は、これからを担う子供たちのためにということで、「攻め」の行政であると考えている。

これまで給食費は、保育所の完全無償化、小中学校の1食当たり20円の補助を50円へ

■船津小学校仮設校舎

プレハブ校舎の使用状況と工事の教育環境への影響を視察



■船津保育所

新設された施設運営に関する視察



勝山小立村境線の進捗状況

自然生活館

勝山と小立の村境線の進捗状況と今後の計画は。

A 都市整備課長 11月下旬の入札で決定になった。3月いっぱいの工期で決

進めている。総延長600メートルのうちのまずは100メートルの施工となる。また、来年については400メートル、再来年が100メートルで3年計画の事業である。補助金次第では、計画変更もありうる。

Q 農林課 町では、大石地区にある自然生活館のガラス温室部分を2階建てに建てるかかる計画を進めており、これに伴う設計委託費432万円。



長浜親水公園

A Q 長浜親水公園の案内看板の設置を検討すべきでは。

A 都市整備課長 検討委員会でも要望があつたので、入り口の看板だけは課が自前で作成した。今後も必要であれば予算や利用状況を見ながら検討していく。

A 都市整備課長 台風24号による雪解沢や準用河川等の氾濫した土砂の処理、風倒木の伐採や道路の枝等の清掃予算として700万円。

また、二度の台風により小曲展望広場の浅川側のり面の樹木が倒れた。その後の調査で浮き石が多く崩落の危険性があるため、緊急工事として浮き石等の撤去を行う。簡易的なシートで覆い、雪に耐え得るように施工し、倒木予防のために倒れやすそうな樹木の伐採も行う。

A 都市整備課長 社会福祉協議会から共同募金のベンチをいただき3台設置してある。地域からの要望がさらにあれば検討していきたい。

Q ベンチも検討してほしい。

補正予算の主な内容

台風後の処理

こうしたことから、ガラス温室部分を同じ建坪で2階建てにして売店、喫茶、展望室及び事務室を兼ねた形に建てかえす計画である。また、事務室を新しい建物の中へ移設することにより、従来の事務室のある場所を売店に改裝して全体の売り場面積を増やし、観光客が滞留しやすい建

物についていく予定。



河口湖自然生活館

産経土木 常任委員会

町内視察

平成30年11月12日（月）産経土木常任委員会は、次の現地視察を実施しました。

■町道篠の峠（精進民宿村入り口）

■ジビ工食肉加工施設（精進）

■県道河口湖精進線工事現場（大石）

■紅葉まつり会場（河口）

■県道鳴沢富士河口湖線工事現場（勝山）

ジビ工食肉加工施設

「施設整備の背景」

有害鳥獣として駆除されるシカを食肉として有効活用し、町内の新たな特産品として観光と結びつけることにより、地域の活性化を図っていくことを目的として、町が平成21年に整備。

「提供状況」

販売実績は、平成29年度、606kg、132万9千円。販売先は、町内11業者、町外5業者。鹿カレーやハンバーガーはじめ、和洋様々なメニューで提供されている。最高レベルの味と安全性が追求され、一日当たりの処理頭数は最大4頭程度である。

また、近年毛皮も県工業技術センターの鹿革印傳への利用実験用にも販売。

「課題」

◇シカ持ち込み頭数の増加と受け入れ体制の整備

◇販売

◇鹿カレーに続く新たな加工産品の開発と食肉加工施設従事者の後継者育成

年度	船津	小立	大石	河口	長浜	本栖	富士ヶ嶺	計
地区別の鹿駆除頭数								
27	5	66	22	37	7	85	31	253
28	4	103	75	99	14	108	58	461
29	3	77	51	43	31	77	53	335
計	12	246	148	179	52	270	142	1049
食肉加工施設への地区別持ち込み頭数								
27	0	28	9	42	1	18	3	101
28	0	31	29	40	1	15	4	120
29	0	17	42	25	0	10	2	96
計	0	76	80	107	2	43	9	317



県道鳴沢富士河口湖線（勝山）



ジビ工食肉加工施設（精進）

昭和大学 教員
萩原 康夫
(船津在住)

「ニコニコかかし教室」という活動の紹介

昨年6月より始まった「ニコニコかかし教室」という活動に、私が勤務する昭和大学の学生達がボランティアとして参加しました。これは、「NPO法人富士と湖とかかしの里」が主催する活動の一つです。この法人は、「地域住民の交流を深め社会参加を推進することにより、助け合いの精神を育て、ともに手を取り合い生き生きと生活する地域コミュニティの創造に寄与すること」を目的としています。昨年の12月から「ニコニコかかし食堂」という様々な世代の人々が集まって食事をとりながら交流を深める多世代間コミュニケーションスペースの運営を始められるなど積極的に行動している団体です。

では、「ニコニコかかし教室」とはどのようなものなのでしょうか? 「ニコニコかかし食堂」に来てくれた子ども達は食事を終えると帰つてしまふことが多い、なかなか交流が広がらない状況でした。そこで、地元の学生たちにも参加してもらい、子ども達との交流をはかることが企画されたのです。参加するのは昭和大学の学生以外に、健康科学大学の学生もいます。この春からは富士吉田市立看護専門学校の学生にも協力していました。活動内容です。

ボランティアの学生たちが「ニコニコかかし食堂」で子ども達と一緒に食事をした後、学校からの活動内容です。この法人は、「地域住民の交流を深め社会参加を推進することにより、助け合いの精神を育て、ともに手を取り合い生き生きと生活する地域コミュニティの創造に寄与すること」を目的としています。昨年の12月から「ニコニコかかし食堂」という様々な世代の人々が集まって食事をとりながら交流を深める多世代間コミュニケーションスペースの運営を始められるなど積極的に行動している団体です。



ニコニコかかし教室の様子

町民のみなさんが一人でも多く「ニコニコかかし食堂」へ足を向けていただき、そして「ニコニコかかし教室」をのぞいていただき、次世代を担う子ども達やボランティアの学生たちと交流をしていただければと願っています。

宿題や問題集などを一緒にしたり、宝物のようにカードを自慢げに見せたり、折り紙や塗り絵などで遊んだりします。最初こそ緊張した顔つきの子ども達でしたが、次第に笑顔が増えて、帰る際には「今度も来るよね?」と催促する子どもが多くいます。中には「看護師になりたいけど、どんな勉強すればいいの?」と将来の自分の夢を語ってくれる子どももいます。そのように安心して話ができる環境が「ニコニコかかし教室」なのです。ボランティアをした学生達からは、地域の高齢者の方々や子ども達との交流から、富士河口湖町をより身近に感じるようになったと聞いています。

議会 見・聞・録

私は時々CATVで町議会を見る事は有りましたが、昨年友人に誘われ町議会を傍聴する事が出来ました。年に数回町役場に行く事は有りましたが、議場に入るのは今回初めてであります。TVの画面では伝わらない立派なデザインで威厳の有る議場でした。

私が傍聴させていただいたのは一般質問の日でした。堀内議長のもと、定刻通りに開会され、町民の代表である2名

の議員の方から現在の町政の状況、課題等の進捗状況、地区からの要望等の質問に対して渡辺町長をはじめ、町の執行部の各課長さん方からも真摯に回答され、議場内も物音も無く張りめた緊張感の中、町政の課題等を議論されるのを見て一町民として心強く感じました。今後も一有権者として町政に今まで以上に关心を持ち又議会を傍聴させて頂きたいと思います。

大石地区 堀内隆嶺

議会を傍聴しませんか?

次の定例会は3月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

委員長	副委員長	委員	委員長	委員	委員長	委員	委員長	委員
小佐野 快	山下 利夫	渡辺 美雄	外川 満	半田 幸久	本庄 英之	三浦 康夫	古屋 幹吉	(古屋 幹吉)

編集後記

テレビなどで盛んに言つている、平成最後の年(平成31年)が始まりました。本年も宜しくお願ひ致します。本年は、新天皇が即位し年号も変わります。議会も「安全祈願祭」に参 加し、新たな時代へスタートを切りました。

今回の議会だよりは、12月定例議会の内容を届けいたします。

議会人として1年を経過し、一般質問をする機会を得ました。緊張しましたが一步前に進めたと思っています。

今後も、開かれた議会を目指してまいります。

議会だより
ふじかわぐちこ Vol.61
2019.2

発行:富士河口湖町議会 編集:議会広報常任委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167